

令和4年度 施策・基本事業マネジメントシート（令和3年度実績に基づく評価）

作成日 令和 4 年 7 月 8 日

政策体系	基本目標名	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	施策主管課長	企業誘致課
	政策名	1	産業振興で活力あるまちづくり		
	施策名	2	出流原PA周辺開発の推進		
施策関係課	政策調整課、産業政策課、農政課、都市計画課				田村 弘行

1. 施策の目的と成果把握

施策の目的「対象」	この施策は、誰、何を対象としているか	対象指標	単位	R1	R2	R3	成果指標設定の考え方		
	・出流原PA周辺区域	① 出流原PA周辺総合物流開発整備構想面積（第1段階）	ha	14.1	14.1	14.1			
施策の目的「意図」	この施策によって、「対象」をどういう状態にするのか	成果指標（意図の達成度を表す指標）	区分	単位	H30	R1	R2	R3	成果指標の取得方法
	・出流原PAスマートインターチェンジの設置及びインランドポートを核とした物流拠点の開発整備を推進する。	① 開発整備着手面積（第1段階）	目標実績	ha	14.1	14.1	14.1	14.1	
		② (仮称)出流原PAスマートインターチェンジ整備の進捗率	目標実績	%	10.0	36.0	71.0	100.0	
		③ 佐野インランドポート年間取扱貨物量	目標実績	TEU	4,094	8,188	10,918	12,284	
		④	目標実績						
								① 都市整備課資料 ② 都市整備課資料 ③ 産業立市推進課資料	

2. 基本事業の目的と成果把握

基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	H30	R1	R2	R3	基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	H30	R1	R2	R3	
出流原PA周辺総合物流開発整備の推進	出流原PA周辺区域	・総合物流拠点として開発する。	① 開発整備事業（第1段階）の進捗率	目標実績	%	10.0	20.0	30.0	50.0	佐野インランドポートの安定した運営	佐野インランドポート	佐野インランドポート運営の収益の黒字化を図る。	① 取扱コンテナ数	目標実績	TEU	4,094	8,188	10,918	12,284	
			②	目標実績		5.0	10.0	30.0	35.0				② 佐野インランドポート拡張の検討	目標実績	箇所	-	-	-	1	
出流原PAスマートインターチェンジ整備の推進	出流原PA周辺区域	・出流原PAにスマートインターチェンジを整備する。	① スマートインターチェンジ整備の進捗率	目標実績	%	10.0	36.0	71.0	100.0											
				目標実績		9.0	25.3	37.7	85.0											

3. 施策及び基本事業の目標達成度評価

施策	令和3年度施策の取組方針				施策の取組方針・成果指標達成状況			
	<p>・出流原PA周辺総合物流開発整備については、事業手法や民間事業者との連携などに係る調査内容を踏まえ、構想エリアにおける各ゾーンの方向性を検討する。なお、出流原PA周辺総合物流開発整備事業（Aゾーン）については、業務工程の見直しを図るとともに、当初予定のとおり工事完了が実現できるような事業の進捗を図る。</p> <p>・(仮称)出流原PAスマートインターチェンジ整備の計画的な進捗管理を行うとともに、付帯工事については、ネクスコ東日本と連携し、地元住民等との調整を図り円滑な工事施工の進捗を図る。</p> <p>・佐野インランドポートについては、利用率を高めるためのポートセールスを行うとともにコンテナ取扱量の回復及び施設の安定運営を図る。</p>	<p>【施策の取組方針達成状況】</p> <p>・出流原PA周辺総合物流開発整備事業については、令和4年度から実施する用地買収に向けて不動産鑑定評価及び物件算定業務を実施した。なお、地区計画・開発行為に向けた関係機関との協議は継続して実施した。</p> <p>・(仮称)出流原PAスマートインターチェンジ整備については、ネクスコ東日本の発注による本体工事が令和4年3月に完了した。なお、本市で発注した調整池拡張工事並びに、排水管設置工事、案内標識更新工事を実施し、全て年度内に完了となっている。</p> <p>・港湾物流及びコンテナラウンドユースのアドバイザーや指定管理者と連携し、荷主企業や船会社、物流事業者並びに港湾運営者等に対し62回のポートセールスを行った。</p>	<p>【成果指標達成状況】</p> <p>・出流原PA周辺総合物流開発整備事業のAゾーン整備については、令和4年度から実施する用地買収に向けて不動産鑑定評価及び物件算定業務を実施した。なお、地区計画・開発行為に向けた関係機関との協議は継続して実施した。</p> <p>・(仮称)出流原PAスマートインターチェンジ整備については、令和元年度に発生した東日本台風による影響や用地買収時の不測の事態により事業進捗が停滞したことにより、目標としていた事業進捗率には達しなかった。</p> <p>・インランドポートの安定運営については、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値を達成することは困難な状況となっており、目標には達しなかった。</p>					

基本事業	令和3年度基本事業の取組方針				基本事業の取組方針・成果指標達成状況			
	<p>出流原PA周辺総合物流開発整備の推進</p> <p>・基本構想に位置付けたBゾーン以降の開発については、北関東自動車道沿線における新たな産業団地の候補地の一つとして、北関東沿線開発推進事業の中で調整を図っていく。</p> <p>・出流原PA周辺総合物流開発整備事業（Aゾーン）については、土地地価、物件算定を完了させる。その他、関係機関との土地利用や開発、地区計画の協議を進める。</p>	<p>取組方針</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成</p> <p>成果指標</p> <p><input type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input checked="" type="checkbox"/> 全て未達成</p> <p>【基本事業の取組方針達成状況】</p> <p>・Bゾーン以降の開発については、北関東自動車道沿線における産業団地候補地の洗い出しを行うと共に、検討資料の作成を行った。</p> <p>・Aゾーン区域内における不動産鑑定評価・物件算定業務等計画通り実施した。また、関係機関等との協議も継続して行っている。</p> <p>【成果指標達成状況】</p> <p>・整備の進捗面において、関係機関との土地利用の事前協議や地区計画の決定などの諸手続き面において、十分な進捗が図れていないことが理由となり、目標としていた数値をクリアすることはできなかった。</p>	<p>佐野インランドポートの安定した運営</p> <p>・佐野インランドポートについては、物流効率化に向けた先進的な取組の調査・研究を行うとともに物流関係企業等へのポートセールスを強化することでコンテナ取扱量の回復、収支の黒字化による安定した運営を目指す。</p>	<p>取組方針</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成</p> <p>成果指標</p> <p><input type="checkbox"/> 全て達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成</p> <p>【基本事業の取組方針達成状況】</p> <p>・港湾物流及びコンテナラウンドユースの専門的助言を受けるため、アドバイザーの業務委託を締結した。佐野インランドポート構想の実現に向けて、港湾計画・港湾物流・観光専門委員と総合評価・費用対効果専門委員を委嘱し、物流効率化に向けた組織づくりを行った。</p> <p>また、荷主企業や船会社、物流事業者並びに港湾運営者等に対し62回のポートセールスを行った。</p> <p>・みなとオアシスとしてのイベント開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により事業を実施することができなかった。</p> <p>【成果指標達成状況】</p> <p>・取扱コンテナ数は世界情勢の影響によるコンテナ不足の問題もあり、目標値を下回った。</p> <p>・コロナの影響により、佐野インランドポートの稼働率が減少したが、今後の状況を勘案し出流原PA周辺総合物流開発整備区域への拡張やインランドポート周辺の土地の買収など担当者での協議を行った。</p>				
<p>出流原PAスマートインターチェンジ整備の推進</p> <p>・(仮称)出流原PAスマートインターチェンジ整備については、令和4年とちぎ国体前の供用開始に向けた計画的な進捗管理を図るとともに、付帯工事については、年度内の完了を目指す。</p>	<p>取組方針</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成</p> <p>成果指標</p> <p><input type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input checked="" type="checkbox"/> 全て未達成</p> <p>【基本事業の取組方針達成状況】</p> <p>・ネクスコ東日本と連携を図り、スマートICの整備に当たった。</p> <p>・本市による調整池拡張工事、排水管設置工事、案内標識更新工事を発注し、年度内で完了した。</p> <p>・埋蔵文化財の発掘調査は令和3年11月に完了した。</p> <p>【成果指標達成状況】</p> <p>・スマートインターチェンジ本体に係る整備工事並びに、その付帯工事については順調に進めることができたが、成果指標の面からすると、当初の目標設定として令和3年度に竣工としていたことから、達成することはできなかった。</p>		<p>取組方針</p> <p><input type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成</p> <p>成果指標</p> <p><input type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成</p>					

4. 施策の基本情報

施策の基本情報	社会情勢変化、国・県の動向、市民・議会意見等	施策の成果向上に向けての役割分担		
	<p>・圏央道が全線開通したことにより、東名、中央、関越、東北、常磐道が繋がり、更に交通利便性が向上し、周辺における企業立地が進んでいる。</p> <p>・市議会議員からも、財政基盤強化のため、産業団地造成による企業誘致を図るよう意見が出されている。</p> <p>・近隣市町においても、企業誘致の競争が激化している。</p> <p>・令和元年に発生した東日本台風や新型コロナウイルス感染症の拡大による影響により、全体的なスケジュールの遅延が見られる。</p> <p>・世界的な海上コンテナ輸送の需給ひっ迫により、海上運賃の高騰がもたらされる中、コロナ禍で世界中の海上コンテナ物流が混乱している状況となっている。</p>	市民	事業所	行政
	・出流原PA周辺総合物流開発整備事業の推進に協力する。	・出流原PA周辺総合物流開発整備事業に参画する。	・出流原PA周辺総合物流開発整備を実現することにより、あらたな雇用の創出と地元経済の伸展による地域の振興を図る。	

5. 施策全体の総括・今後の課題・今後の方向性

施策の成果実績と施策の基本情報及び施策コストに関する全体総括	今後の課題	今後の方向性
<p>・出流原PA周辺総合物流開発整備（Aゾーン）については、不動産鑑定評価並びに物件算定業務を完了し、令和4年度からの用地買収に向けた準備が完了した。</p> <p>また、北関東自動車道沿線における新たな産業団地整備候補地の洗い出し及び、検討資料の作成を実施した。</p> <p>・(仮称)出流原PAスマートインターチェンジ整備については、埋蔵文化財調査が11月に完了した。また、ネクスコ東日本による本体工事については、令和4年3月に完了している。調整池拡張工事、排水管設置工事、案内標識更新工事については、予定通り年度内で完了している。</p> <p>・佐野インランドポートの安定した運営では、新型コロナウイルス感染症の影響等もあり、当初計画通りのコンテナ取扱量が確保できなかった。また、このような状況のため、施設の拡張については時期尚早との判断となった。</p> <p>・令和3年度の決算額は、令和2年度と比較し約3億円の増となったが、主な要因は(仮称)出流原PAスマートインターチェンジ整備事業費の増(負担金)によるものである。</p>	<p>【令和4年度で解決する課題】</p> <p>・区域内の用地買収並びに、地区計画、開発協議等の整備に係る諸手続の事前協議を進める。</p> <p>・ネクスコ東日本及び国、県と連携しながら、スマートIC整備の推進を図り、早期供用開始を図る。</p> <p>【令和5年度以降にも引き継がれる課題】</p> <p>①区域内の用地買収や地区計画、開発協議の諸手続等、基本計画に定めるスケジュールに沿った事業の推進を行う。</p> <p>②国際的な防災拠点創出に向けた検討を行う。</p> <p>③佐野インランドポートの事業計画に即した海上コンテナ取扱量の確保及び、ウィズコロナの状況を踏まえた施設運営の在り方検討。</p> <p>【令和5年度重点課題】</p> <p>④出流原PA周辺総合物流開発整備Aゾーンにおける用地買収並びに、土地利用の事前協議や地区計画等の諸手続きを速やかに行い、事業の計画スケジュールに即した事業の進捗を図る。</p>	<p>①④出流原PA周辺総合物流開発整備事業（Aゾーン）については、基本設計で示した事業スケジュールに沿って円滑な事業の進捗を図り早期完了を目指す。</p> <p>②出流原PA周辺における国際的な防災拠点の創出に向けた検討を行う。</p> <p>③社会経済情勢の変化に応じたポートセールスを進め、取扱コンテナ数の増強を図り施設の安定運営を目指すとともに、施設の在り方を検討する。</p>